

事例 5 (中学校 3)

男子生徒の不純異性交遊の事例

1. 主訴 不純異性交遊

2. 対象 中学校3年 男子

3. 問題の概要

中学1年の秋、親に内緒で転部したある運動部の合宿時から喫煙、頭髮のソリ入れなどをするようになる。

中学2年では、服装違反を繰り返し部顧問と衝突し、教師への反発もみられた。

中学3年になって、部活動でめざましい活躍をする一方、仲間の中心的存在として授業妨害や器物破損、対生徒暴力等を繰り返したり、仲間の家でディスコ、喫煙、飲酒をするなど、夜遊びが続き、帰宅は毎日深夜に及ぶ。そして、問題行動をもつ同学年の女子生徒と性関係をもつに至った。学習意欲も著しく低下し、上位の成績が急速に下降した。

4. 資料

— 生物的次元 —

● 身体的発達状況

出生時体重4,100gの過胎児。母乳とミルクで育ち、発育良好。第二性徴の発現は早く、小学6年の夏である。

● 運動・行動

身体が頑強で、すべての運動能力にすぐれている。

— 心理的次元 —

● 知的発達

知能偏差値は58である。小・中学校とも成績上位。中学3年の5月ころから学習意欲が減退し成績も下降傾向を示す。

● 対人関係の特徴

小学生の時期は、年上の男子とよく遊び、しっかり者で皆からかわいがられる。両親に反抗するようなことはなかった。

中学校に入って、5,6名の男子グループのリーダー的存在になり、さまざまな不適応行動を示すようになった。その過程で、髪の色、万引、遅刻早退、家出等を繰り返す同学年の女子生徒と交遊を始め、3年生の5月ころから性関係をもった。それは、共に「ツッパリ」であり、相互に引き合う関係でもあった。

● 性格・情緒

小学校中学年までは、従順、明朗であり、高学年以後、リーダーシップを発揮する。

性格検査 (YG)

検査点	1	2	3	4	5	検査点																									
D	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
I	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
N	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
O	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
Co	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
Ag	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
R	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
G	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
T	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
S	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

A"型で、性格の可変性が著しい。現在は、目だつことをしたり何らかの理由から不適応感を強くいだき、気分がいらいらした状態である。

baumテスト

用紙からのみ出し、つめのよう

